

ベンリスタの皮下注射は一週間毎に行います。
次の来院予定までの間の注射予定日を確認しておきましょう。

医薬品リスク管理計画
(RMP)



次の来院予定 月 日

ベンリスタ注射予定日 (毎週 曜日に注射)

1	月	日	5	月	日
2	月	日	6	月	日
3	月	日	7	月	日
4	月	日	8	月	日

注射時の注意

- 投与スケジュールをまもって注射を行ってください
- 投与を忘れたことに気づいた場合は主治医に連絡の上、可能な限り速やかに投与してください。その後の注射は予定していたスケジュールで行う、又はその日から新たに1週間間隔で注射を開始するようにしてください
- 清潔な状態で注射してください
- 毎回同じ箇所注射しないでください
- 皮膚が赤い、傷がある、硬くなっている部位には注射しないでください
- 注射部位は揉まないでください
- オートインジェクター／プレフィルドシリンジを分解しないでください

ベンリスタの処方中に副作用を疑うような症状が出た場合には
医療機関にご相談ください。

医療機関名

ベンリスタの在宅自己注射を実施される方へ ベンリスタを安全に使用していただくために

以下の方はベンリスタを投与することができません。
● 重篤な感染症の患者さん ● 活動性結核の患者さん

在宅自己注射を開始する前に、
医療機関で十分に指導を受けてください。

全ての項目にチェックが入った場合にのみ在宅自己注射が可能
となります。在宅自己注射を始める前に確認しましょう。

- ベンリスタの正しい保管方法を理解しました
- 注射の準備 (手洗い、廃棄容器の準備、常温になるまで30分待つなど) について理解しました
- 医療機関指導の下、注射の練習を行い、正しい投与方法を理解しました
- 注射後の正しい対応 (廃棄方法含む) について理解しました
- 副作用 (P3を参照) とその対処方法について理解しました
- 医療機関から自己注射可能と判断されました

不明な事項があった場合には、医療機関にお問い合わせください。

ベンリスタの投与中に重篤な感染症や活動性結核と診断された場合には、
すぐにベンリスタの投与を中止し、主治医に連絡してください。

ベンリスタの投与中には次のことに注意し、必要に応じて主治医に相談してください

ワクチンの接種を考えているときには、事前に主治医と相談してください。

ベンリスタの投与中は生ワクチンの接種は控える必要があります。ワクチンの接種を検討する場合には、接種前に必ず主治医に相談してください。

投与中に妊娠した可能性のある方は、主治医にすぐに相談するようにしてください。ベンリスタ投与中及び投与中止後少なくとも4ヵ月間までは有効な避妊を行い、授乳は避けましょう。

ベンリスタは胎盤を通過すること、乳汁中に移行することが報告されています。

B型肝炎ウイルスキャリアやB型肝炎にかかったことのある方は倦怠感、発熱、黄疸、発疹、吐き気、嘔吐、かゆみなどがあらわれたら、すぐに主治医と相談してください。

ベンリスタを投与中の患者さんでB型肝炎ウイルスの再活性化が報告されています。

気分が落ち込む、不眠、食欲低下、まれに自分を傷つける行為などがあらわれることがあります。

ベンリスタを使用した患者さんにうつ病、まれに自傷行為又は自殺が報告されています。



ベンリスタの投与中に次のような疾患を疑わせる症状が出た場合には、ベンリスタの投与を中止し、すぐに医療機関に連絡してください

重篤な過敏症

- 自己注射した直後に低血圧や心拍数の低下、まぶたや唇、皮膚などの腫れ、呼吸困難といった症状が出ることがあります。
- 場合によっては、注射から少し遅れて発疹や吐き気、疲労感、筋肉痛、頭痛、顔面の腫れなどが出ることもあります。

重篤な感染症

- 発熱、頭痛、咳、息切れ、倦怠感などの症状が出ることがあります。

進行性多巣性白質脳症 (PML)

- 意識障害や麻痺、うまく話せないなどの症状が出ることがあります。

間質性肺炎

- 発熱、から咳、息苦しい、息切れなどの症状が出ることがあります。

